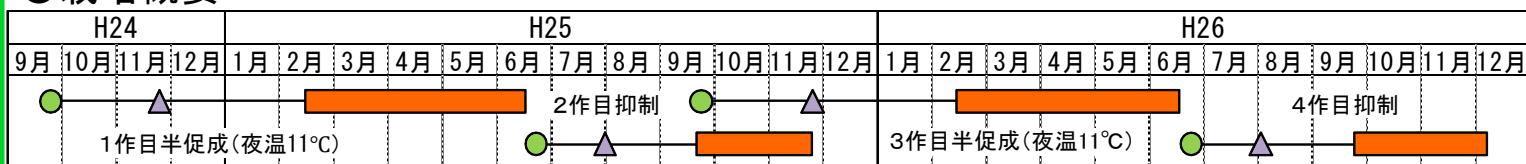


可給態リン酸が蓄積した砂質土の トマト施設栽培におけるリン酸減肥

可給態リン酸が土壌診断基準値100mg/100gを超える砂質土の施設では、リン酸無施用でもトマトの収量は減少しません

○栽培概要



●：播種、▲：定植、■：収穫

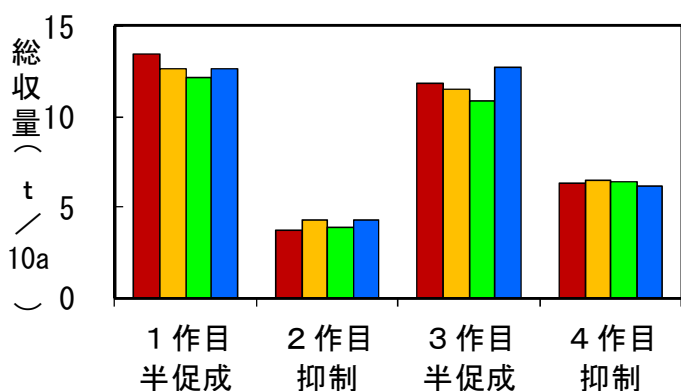
※品種 1作目半促成及び3作目半促成：穂木「ハウス桃太郎」、台木「ドクターK」 2作目抑制：「ハウス桃太郎」 4作目抑制：「桃太郎グランデ」

○試験区の構成

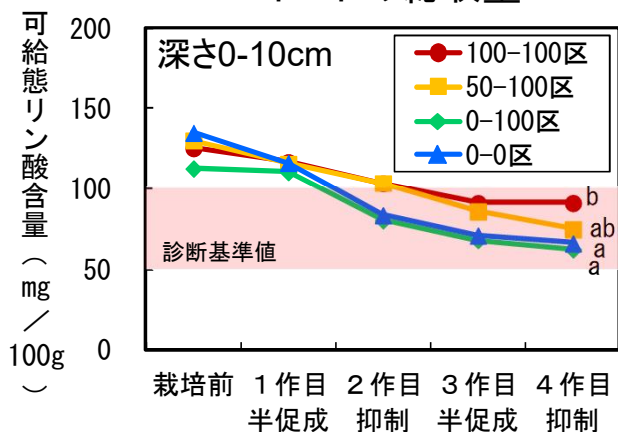
- ・100-100区：基肥及び追肥は基準量、50-100区：基肥は基準量の半量、追肥は基準量、0-100区：基肥は無施用、追肥は基準量、0-0区：基肥及び追肥ともに無施用

※堆肥は無施用、窒素及び加里は施肥基準量施用

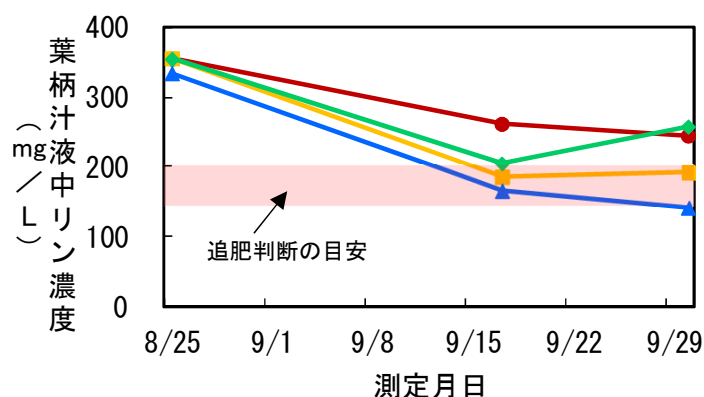
○成果の概要



トマトの総収量



可給態リン酸含量の変化



4作目抑制栽培トマトの葉柄汁液中リン濃度

可給態リン酸127mg/100gの砂質土でリン酸無施肥でトマトの栽培を続けると、

- ・ 4作目までは収量は低下しない
- ・ 4作目の5段果房肥大期で、リン酸の追肥が必要な栄養状態になる
- ・ 可給態リン酸（深さ0～20cm）は4作で約60mg/100g減少し、土壌診断基準値内となる

